

沖縄コミュニティ・アイ ランド事業「たらまゆ がぶっランド」の概要



ふれあいバンガロー村(管理棟)



ふれあいバンガロー村(バンガロー)

沖縄県は、広大な海域に数多くの離島が点在する島しょ県であり、沖縄県の振興開発を進める上で、離島の振興は最も重要な課題の一つとなっています。

このため沖縄開発庁では、現在第三次沖縄振興開発計画に基づき、離島の持つ特性と住民の創意を活かした活力ある地域社会を形成するための諸施策を積極的に進めていることです。

「コミュニティ・アイランド事業は、離島の特性を活かした観光・レクリエーション施設等の整備を行い、他地域の人々との交流を推進し、明るい開かれたコミュニティの形成に資すること



潮見台

を目的に平成二年度から実施されているもので、九年度からは従来の施設整備事業に加え、新たに、イベント等を通して他地域との交流の推進を図ることを目的とした「沖縄離島交流推進事業」を実施するなど、その拡充が図られているところです。

ここでは平成十年度及び十一年度の事業として実施された多良間村「たらまゆがぶっランド」について紹介します。

多良間村「たらまゆがぶっランド」多良間村は、宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、多良間島と水納島の二つの島から構成され、基幹作物のさとうきび栽培を中心に葉タバコや肉用牛の生産に加え、最近では果物のハウス栽培も行われています。また、二〇〇三年の供用開始に向けて建設が進められている新多良間空港は、

輸送力の拡大による島の産業振興の発展と地域住民の生活向上に大きく貢献するものとして期待が寄せられています。

「たらまゆがぶっランド」は宮古島と石垣島のほぼ中間に位置するという地理的特性を活かし、島づたい観光・交流による島の活性化に資することを目的として、総面積六〇、九〇〇㎡の敷地にふれあいバンガロー村を始め体験農場の熱帯果樹園、ハーブ薬草園などの施設を整備したものです。島の伝統文化と豊かな自然環境を活用し、観光客と地域住民との交流及び観光の拠点として、魅力ある地域づくりに貢献するとともに観光客の増加とさらなる島の発展に大きく寄与する事業として期待されています。



ベンチ